

新型コロナ感染症の流行下での ISO 外部審査

柿原工業の ISO9001:2015 及び ISO14001:2015 は、ビューローベリタスジャパン株式会社という認証機関により毎年 2 回(3 月、9 月)の審査を受けています。

しかし、新型コロナウィルスの流行により、他府県への移動制限やオフィスや工場等への来訪の制限が行われています。

先般、ビューローベリタスジャパン株式会社で ICT(情報通信技術)を利用したリモート審査のセミナーがありましたので紹介させていただきます。

はじめに

今日、世界はCOVID-19のパンデミックにより、多くのお客様においてもオフィスや工場等への来訪の制限がなされています。

ウイルスの蔓延を制限するために、地方自治体、国の当局者の指示により制限が設けられています。

現状において、弊社が従業員とお客様をウイルスへの潜在的な曝露から保護するための対策を講じることは不可避です。

審査における審査員の広範な移動を排除することにより、ばく露を制限することができます。

このような状況下において「ICT*を利用したリモート審査」のニーズが高まりを見せてきています。

本セミナーでは、「ICT*を利用したリモート審査」の運用ルールの詳細と、実際の審査における事例をご紹介させていただき、皆様の今後における検討の一助としていただきたいと考えます。

*ICT (Information Communication technology) 情報通信技術



© Copyright Bureau Veritas

2

リモート審査に関する主なルール

ISO17021-1:2015

適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第 1 部：要求事項

IAF MD5:2019

品質及び環境マネジメントシステム審査工数決定のための IAF 基準文書

IAF MD4:2018

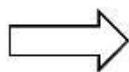
認証審査/認定審査を目的とした情報通信技術 (ICT) の利用に関する IAF 基準文書



© Copyright Bureau Veritas

リモート審査とは

リモート審査
(Remote Audit)



遠隔審査：ICTを用いて実施される審査

組織のマネジメントシステムを以下のようなソフトウェア・
ハードウェア等を利用して評価すること

BVにおけるリモート審査は

被審査組織とのビデオ電話（ラップトップまたは、デスクトップコンピューターを使用）を使用した文書の共有とレビュー、被審査組織従業員とのリアルタイムのインタビュー/意見交換のみであります。

リモート審査は原則として、被審査組織の指定するアプリで、被監査組織から招聘いただく方法（ホストは被審査組織）で実施します。

※BVではスマートフォンを利用した遠隔審査は行っていません。



© Copyright Bureau Veritas

リモート審査が可能な箇条

リモート審査のルール③～適用可能な要求事項の箇条～

ISO9001の例

大分類	中分類	箇条名
4		組織の状況
	4.1	組織及びその状況の理解
	4.2	利害関係者のニーズ及び期待の理解
	4.3	品質マネジメントシステムの適用範囲の決定
	4.4	品質マネジメントシステム及びそのプロセス
5		リーダーシップ
	5.1	リーダーシップ及びコミットメント
	5.2	方針
	5.3	組織の役割、責任及び権限
6		計画
	6.1	リスク及び機会への取組み
	6.2	品質目標及びそれを達成するための計画策定
	6.3	変更の計画
7		支援
	7.1	資源
	7.2	力量
	7.3	認識
	7.4	コミュニケーション
	7.5	文書化した情報

□は適用可能な箇条

(7.1.3インフラストラクチャー)
(7.1.4プロセスの運用に関する環境)
(7.1.5監視及び測定のための資源)
は適用不可

要員と十分な会話・インタビューが出来る場合のみ可

上記は弊社と認定機関UKASで合意した内容です。



© Copyright Bureau Veritas

リモート審査のルール③～適用可能な要求事項の箇条～

ISO9001の例

大分類	中分類	箇条名
8	通用	
	8.1	通用の計画及び管理
	8.2	製品及びサービスに関する要求事項
	8.3	製品及びサービスの設計・開発
	8.4	外部から提供されるプロセス、製品及びサービスの管理
	8.5	製造及びサービス提供
	8.6	製品及びサービスのリリース
	8.7	不適合品なアウトプットの管理
9	パフォーマンス評価	
	9.1	監視、測定、分析及び評価
	9.2	内部監査
	9.3	マネジメントレビュー
10	改善	
	10.1	一般
	10.2	不適合及び是正措置
	10.3	継続的改善

(8.4.2管理の方式と程度) は除く

サービス業のみ適用可能

基本的に製造業における「製造プロセス」はリモート審査は難しいと考えられる



© Copyright Bureau Veritas

上記は弊社と認定機関UKASで合意した内容です。

18

リモート審査のルール③～適用可能な要求事項の箇条～

その他規格例

リモート審査が適用可能な規格及び要求事項

2020/5/28

適用可能な規格	リモート審査可能な要求事項			リモート審査不可の要求事項
	大箇条すべて可	大箇条内の一部		
ISO14001:2015 環境マネジメントシステム	4 組織の状況, 5 リーダーシップ, 6 計画, 10 改善	7.1 資源, 7.2 力量, 7.3 認識*1, 7.5 文書化した情報, 9 パフォーマンス評価*2	*1: 業務の要員にインタビューできる場合のみ可 *2: 9.1.1 一般 を除く	8 通用 9.1.1 一般
ISO45001:2018 労働安全衛生マネジメントシステム	4 組織の状況, 5 リーダーシップ及び働く人の参加 6 計画,	7.1 資源, 7.2 力量, 7.3 認識*1, 7.5 文書化した情報, 9 パフォーマンス評価*2 10 改善	文書類（手順・規定類、記録類）の確認と事務所内スタッフやワーカーへのインタビューに限る *1: 業務の要員にインタビューできる場合のみ可 *2: 9.1.1 一般 を除く	労働安全にかかるプロセス管理とリスク管理は不可 7.4 コミュニケーション 8 通用 9.1.1 一般
ISO 20000, 27001 及び JIS- ISMS517-1.0 (ISO/IEC27017) ITサービスマネジメントシステム 情報セキュリティマネジメントシステム クラウドセキュリティ認証	箇条単位での制限はないが、建物や施設の物理的セキュリティ管理の審査を除く			業務が行われる建物や施設の物理的セキュリティ管理については不可



© Copyright Bureau Veritas

上記は弊社と認定機関UKASで合意した内容です。

19

リモートのプロセス①～ワークフロー～

計画されている審査の種別
はリモート審査が適用できる
ものか？
16ページ参照

IT/オンラインを通した環境で
審査をする提供する
が出来る組織か？

ビデオや画面の共有を通じて、
リアルタイムに文書類の確認
や要員へのインタビューを行う。

審査レポートは通常と同じで
あるが、ICTを活用したリモート
審査部分をハイライトする。

1. (オンライン)
審査の実施の計
画される

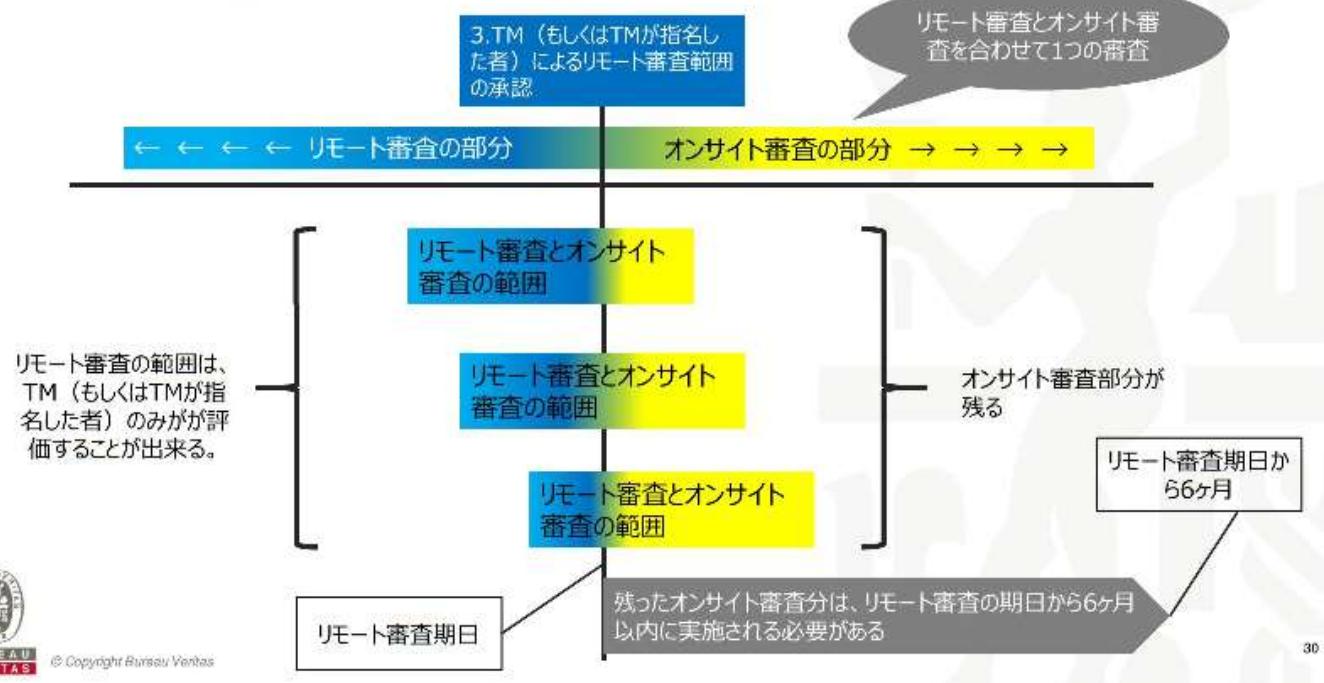
2.TM（もしくはTMが
指名した者）によるリ
モート審査の適格性の
承認

3.TM（もしくはTMが
指名した者）によるリ
モート審査範囲の承
認

4.リモート審査の
実施

5.リモート審査の
レポート

リモートのプロセス④～リモート審査の範囲～



セミナーでの要点及び柿原工業の方針

リモート審査可否の審査を要する。 (有料で新たに必要となる)

リモート審査での機密保持に関するリスクがある。

当社の審査において規格すべての箇条をリモート審査で実施することは出来ない。

(製造業のため最大 50%)

リモート審査ら 6 か月以内にオンサイトでの審査が必要で、4 回/年のイメージとなる。

(現状でも 2 回/年審査している)

審査に係る費用にメリットがない。(審査員の宿泊費が減少するくらい)

以上のことから、管理責任者及び事務局協議の上、柿原工業は、リモート審査による外部審査を受審しないことを決定しました。